

津 神 謙 太 郎

問 市内の危険箇所は何箇所あるのか。
答 昨年の危険箇所は43件あり、そのうち危険度の高い16箇所の対策は済んでいる。今年現在までで危険箇所は54件ある。(教育長)

問 今年度は54件中8件を実施している。(教育長)
答 市単独でできることは少なく、国・県・警察でもらうものは最大限詰めてやっていると思う。去年、国土交通省で180号の歩道整備やガードレール設置をもらっている。(市長)

入札制度について
問 市内・市外業者の割合はどうなっているのか。
答 市内業者の割合は土木・建築で91・9%となっている。(市長)

雪舟生誕地公園について
問 土地取得から15、16年たつが、いつ整備をするのか。以前の答弁では財政的に改善の兆しが見えたらやると思っていたがどうか。
答 財政的な改善や合併特例債の活用等を検討し、やり方等について検討する。(市長)

赤 澤 康 宏

市長の政治姿勢について
問 行政報告に「職員の給与を下げない」とのことだが、事の真意を聞きたい。
答 本市の給与は、県内全市町村と比べても、低い位置にあり、国もペナルティを考えてない。ただ、市民の生活に影響が及ぶようなら、自ら判断していきたい。(以下市長)

高齢者福祉について
問 市内の施設入居希望の待機者数と、今後、市内の特養
答 各課とも時期的には忙しい時があるが、この質問を受け、職員の体調管理等、今以上に気を付けて、健全な職場を目指す。

ベッド数の予定は。
答 市内待機人数は500人で、ベッド数が増えると、介護保険料が高くなる。今後は動向を慎重に見据えて、判断をする。
問 障がいを持つ高齢者を受け入れる施設はあるのか。また、今後の考えと方針を聞きたい。
答 残念ながら、独自の施設はないが、今後は新たな取組として、考えて進めていく。



障がいのある高齢者の作業の様子

大 熊 公 平



医療費適正化推進委員会

市長の政治姿勢について
問 負担額の急増で「医療費適正化推進委員会」を上げたが、小児医療費無料化の政策評価をどうしてきたのか。
答 毎年度で評価はしていないが、5年間で医療費が4500万円増えた。政策が浸透したとの評価もあるが、使途に想定外のこともあり反省している。詳しく調査し、利用

者の立場で抑止策を考えたい。
問 一括補助金制度を来年度から導入したいというが、仕組みづくりの課題は何か。
答 現在の補助金制度が、公平・平等だったかというところではなかった。いろんな補助金を見直し、小学校区を単位とした地域への一括補助金制度を導入することを考えている。しかし、地域も大小があるし、何を一括とするのかさびわけもあるし、コミュニ

ティにばらつきがあり、来年度から同時出発に至らないかもしれない。各地域の自立性・格差是正を考え是非成功させたい。
TADYUNSP
問 7月に参加が決まったが、農業分野への打撃はどうか。その対策はどうするのか。
答 米には大きな打撃がある。国の対策を待つが、農地集積は市でやりたい。(以上市長)

萱 原 潤

北の吉備路・鬼城山について
問 北の吉備路・鬼城山一帯の「持続可能な賢明な利用」を図っていくため、市として教育委員会として果たす役割をどのように考えているか。
答 来訪者にとっての北の吉備路・鬼ノ城の魅力は「豊かな自然」「類い希な文化遺産」「心洗われる景観・眺望」が

3要素と認識している。したがって、北の吉備路・鬼城山一帯の「持続可能な賢明な利用」を図っていくためには、これらの3要素を保全し育てていくことが大切と認識している。また関係所管が協議・連絡を密にし、共通認識を持つことが大切と認識している。(市長・教育長)

総社芸術祭について
問 初めての芸術祭を終えて、
答 参加して下さった人々は、与えられた条件の下で立派なパフォーマンスを発揮してくれ感謝している。反面、ポリシーやコンセプトが曖昧であったこと、計画の実行を統括する責任者が不在であったこと等の反省点も認識している。(市長・教育長)



雪の鬼ノ城